

● 診療科の特色

当科は平成11年7月より開設された部門である。

現在は指導医1名、専攻医1名で診療を行っている。

形成外科のほぼ全般にあたる診療を行っているが、現状では約8割が小児の症例となっている。

なかでも乳児血管腫、太田母斑、異所性蒙古斑などの血管腫、あざに対するレーザー治療が診療の中心である。小児であざの面積が広範囲の場合は入院、全身麻酔下での治療も行っている。

● 診療実績

1. 主要手術 年間手術件数668件

	手術名	件数
1	外傷	38
2	先天異常	62
3	腫瘍	155
4	瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	8
5	難治性潰瘍	14
6	炎症・変性疾患	10
7	美容(手術)	0
8	その他	23
9	レーザー治療	358

● 研究業績

学会

1) 末延 耕作

当院における乳児血管腫に対する治療の検討
第64回日本形成外科学会

2021年4月14日

2) 末延 耕作

岡山医療センター形成外科におけるレーザー治療について
第32回川崎医科大学形成外科学教室同門会学術集会

2021年5月22日